

回 覧



平塚市体協ニュース

第57号

平成27年3月31日

平塚市体育協会機関誌

平成26年度神奈川県体育功労者表彰



平成26年度神奈川県体育功労者表彰式にて表彰される、宮田 融氏 (写真右)

本市からは宮田融氏に栄誉

平成二十六年度神奈川県体育功労者表彰・同スポーツ優秀選手表彰が一月十一日、神奈川県庁本庁舎大会議場で行われました。本市からは宮田融氏がこの栄誉に浴しました。

宮田氏の主な功績を御紹介いたします。
◎昭和四十三年横浜弓道場の建設
◎昭和三十九年神奈川県連弓道連部長

平成二十七年二月十一日、平塚市体育協会納会において、平成二十六年平塚市体育協会体育功労者五氏の表彰を行いました。ここに主な功績をご紹介します(五十音順)。
◇岸川 健二郎氏 (平塚市野球協会)
平成五年八月、平塚市野球協会に加入すると共に平塚市野球協会審判員登録をし、多年にわたり、野球競技の普及、平塚市野球協会の発展等、全力で取り組んでいる。指導的立場から後進の育成、大会の運営等、多大な貢献をしている。
少年野球から高校野球まで携

平成26年度 平塚市体育協会 体育功労者5氏を表彰

などを歴任し、高校弓道へ多大な貢献をした。
一方、自身も全国教職員大会で優勝、全日本選手権にも出場した。
また、トッケイセキユリテイ平塚総合体育館内にある弓道場の建設にも携わり、大勢の参加者に対応できる県下有数の立派な弓道場として地方審査や、県大会などの会場として利用されている。
そして、文部省・全弓連委嘱
・平塚市弓道協会会長
・神奈川県弓道連盟理事顧問

平成26年度 平塚市スポーツ優秀選手及び団体 14氏2団体を表彰

- 個人(敬称略・50音順)
◇氏家 一郎 第15回全日本マスタースベンチプレス選手権大会 ベンチプレスMII 男子120kg超級優勝(210kg)
◇王子谷 剛志 平成26年度全日本柔道選手権大会 柔道 優勝
◇阪部 創 文部科学大臣杯2014年度全日本学生レスリング選手権大会 グレコローマンスタイル75kg級 優勝
◇高市 賢悟 2014年チェリヤピンスク大会世界柔道選手権/2014年グランプリ・ブダペスト/平成26年全日本選抜柔道団体重別選手権大会 柔道 男子 66kg級 優勝
◇高田 勇二 オセアニア&アジア選手権大会2014 ベンチプレスオープン59kg級 準優勝(150kg)
◇高藤 直寿 2014年グランプリ・ブダペスト/平成26年全日本選抜柔道団体重別選手権大会 柔道 男子 60kg級 優勝
◇外山 尚人 オセアニア&アジア選手権大会2014 ベンチプレス(ノギア) MII男子66kg級 優勝
◇長澤 憲大 平成26年度 全日本学生柔道団体重別選手権大会 柔道 男子 90kg級 優勝
◇中村 正美 内閣総理大臣杯 第45回日本社会人ゴルフ選手権 優勝
◇平栗 邦光 第24回 全日本実業団ベンチプレス(ノギア) 選手権大会 ベンチプレス(ノギア) MII男子74kg級 優勝(150kg)
◇ベイカー 茉秋 2014年チェリヤピンスク大会世界柔道選手権 柔道団体戦 優勝
◇松岡 俊男 2014年 アベンチプレス選手権大会 ベンチプレスMII男子74kg級 優勝(172.5kg)
◇横関 貞夫 第31回全日本シニアバドミントン選手権大会 男子60歳以上ダブルス 優勝
◇渡邊 勇人 平成26年度 全日本学生柔道団体重別選手権大会 柔道 男子 81kg級 優勝
◇東海大学 柔道部 平成26年度 全日本学生柔道団体重別選手権大会 団体優勝
平成26年度 全日本学生柔道優勝大会 団体優勝
(監督) 上水 研一郎
(選手) 王子谷 剛志 江藤 康太 松雪 直斗 高藤 健介 阪本 直寿 長澤 憲大 阪本 健哉 山尾 賢明 小原 拳哉 片岡 辰哉 竹内 文汰
◇東海大学 硬式野球部 第63回 全日本大学野球選手権大会 団体優勝
(監督) 横井 人輝
(主務) 伊藤 裕希
(選手) 新谷 淳 牧嶋 隼風 長友 昭憲 若林 孝太 常道 翔太 佐々木 大樹 勢 了篤 三宅 弘大 大城 健二 芳賀 健吾 藪内 智哉 吉田 佑樹 田中 俊太 中川 皓太 渡邊 哲也 丸田 泰資 鎌田 雅大 竹内 司 天久 翔斗 森下 翔平 川下 涼太 下石 諒太
◇東海大学 硬式野球部 第63回 全日本大学野球選手権大会 団体優勝
(監督) 横井 人輝
(主務) 伊藤 裕希
(選手) 新谷 淳 牧嶋 隼風 長友 昭憲 若林 孝太 常道 翔太 佐々木 大樹 勢 了篤 三宅 弘大 大城 健二 芳賀 健吾 藪内 智哉 吉田 佑樹 田中 俊太 中川 皓太 渡邊 哲也 丸田 泰資 鎌田 雅大 竹内 司 天久 翔斗 森下 翔平 川下 涼太 下石 諒太
◇東海大学 硬式野球部 第63回 全日本大学野球選手権大会 団体優勝
(監督) 横井 人輝
(主務) 伊藤 裕希
(選手) 新谷 淳 牧嶋 隼風 長友 昭憲 若林 孝太 常道 翔太 佐々木 大樹 勢 了篤 三宅 弘大 大城 健二 芳賀 健吾 藪内 智哉 吉田 佑樹 田中 俊太 中川 皓太 渡邊 哲也 丸田 泰資 鎌田 雅大 竹内 司 天久 翔斗 森下 翔平 川下 涼太 下石 諒太
◇東海大学 硬式野球部 第63回 全日本大学野球選手権大会 団体優勝
(監督) 横井 人輝
(主務) 伊藤 裕希
(選手) 新谷 淳 牧嶋 隼風 長友 昭憲 若林 孝太 常道 翔太 佐々木 大樹 勢 了篤 三宅 弘大 大城 健二 芳賀 健吾 藪内 智哉 吉田 佑樹 田中 俊太 中川 皓太 渡邊 哲也 丸田 泰資 鎌田 雅大 竹内 司 天久 翔斗 森下 翔平 川下 涼太 下石 諒太



前列左から、外山尚人氏、高田勇二氏、松岡俊男氏、平栗邦光氏、落合克宏平塚市長、田中義平平塚市体育協会会長、氏家一郎氏、長澤憲大氏、阪部創氏
後列左から、熊代佑輔氏(東海大学柔道部)、竹内文汰氏(東海大学柔道部)、横関貞夫氏、小原拳哉氏(東海大学柔道部)、中村正美氏

平塚市体育協会機関誌 「平塚市 体協ニュース」 第57号
発行日 平成27年3月31日
発行人 会長 田中 國義
発行所 平塚市体育協会事務局
平塚市大原1-1
電話 0463(31)3060
FAX 0463(31)9640

次体協ニュースは、10月31日発行の予定です。
広報委員
粟生 光一/佐藤 宗夫/南雲 弘/安藤 武夫/露木 秀樹/宮田 実



平塚自転車協会

当協会で行っている電動ローラーを使用したハロン競走(二百メートルの最高スピードとタイムを競う)について、御紹介いたします。前輪を固定した自転車にまたがり、ヘルメットをかぶり、レーサー気取りになったところでスタートです。最初はローラーにテンションが係っていないため、ペダルが軽く回りますが、足慣らしが出来て、トップスピードに乗ったと

加盟団体だより

ここでスイッチを入れると、競輪場のバンクを走っているのと同じテンションが係り、急にペダルが重くなります。ここから二百メートルの勝負です。ハンドルを引き寄せペダルをおもいきり回してもがけば、周りの応援も声が大きくなり本当にバンクを疾走し、湘南の風を切つて、走っている気分です。ゴールの合図を受け、クールダウンのペダルを踏む頃は、一流レーサーになった気分です。機会があれば、ぜひ、皆さんトライしてください。

平塚スキー協会

一九五五年に創立された当協会は、現在加盟団体八クラブ、会員数百九十三名、公認スキー指導員六十六名、公認スノーボード指導員八名の規模を持つ組織です。主な活動として、小学生を対象にした日帰りジュニアスキー教室(一月)、協会ス



最近休日になると多くの人が色とりどりのサイクルウェアを着て、自転車ですつそうと楽しそうに走っておられますが、閉鎖されたサーキットと違い、歩行者や多くの自転車も一緒に走っている公道では交通ルールを守り楽しく走ってください。

育委員会をはじめとする学校関係者の方々のご理解とご協力のおかげで、案内広報が行き届いた結果と受け止めております。参加者のレベルも上がっており、来年は泊まりがけの講習会も検討しています。

平塚ゲートボール協会

平塚ゲートボール協会は、昭和五十年平塚ゲートボール愛好会としてスタートして以来今年で創立四十年を迎えました。三月十七日には平塚プレジールで記念式典ならびに祝賀会を開催いたしました。



「ねりんピック」熊本県大会に出場した平塚チーム

さらに「市長杯」や「サンライフカップ」などの冠大会がそれぞれ年一回、華やかに開催されます。また、平塚ゲートボール協会が協力する主管の大会としては、市民総体ゲートボール競技会、JA湘南ゲートボール大会などがあります。三月末の平塚市スポーツフェスティバルでは市民のみならず、やさしくわかる「ゲートボール講習会」を実施しています。

(一面より続く)

天皇賜杯、高松宮賜杯、国民体育大会等の地区大会、県大会に審判として派遣、大会の運営に寄与した功績は多大である。以上のとおり、野球競技の普及、発展に貢献した功績は誠に顕著である。

中原 眞一氏

平塚市ヨット協会前身の馬入ヨットクラブ設立に尽力し、理事として活躍する。平塚市ヨット協会設立、平塚市体育協会加盟にあたり、理事として組織づくりや会則策定に尽力する。

平成元年に平塚青年会議所三十周年記念クルーズ企画に共同参加し、クルーズ船サンフラーを平塚沖にてヨットで出迎え、クルーズ企画を大いに盛り上げる。

平成十年開催の神奈川県体で、ヨット競技運営役員として、江の島ヨットハーバーにて大会成功に尽力する。

平塚市体育協会において、強化委員等も務める。現在も現役セーラーであり、ヨット協会では後進の育成、指導、ヨット競技の普及に尽力し、ヨット協合理事として大きく貢献している。

橋口 栄夫氏

平成二年に平塚柔道協会理事に就任し、役員として協会の運営に携わり、協会の発展と柔道精神を引き継ぐ人材の発掘と育成に情熱を傾け、協会の運営普及に尽力した。

平成十二年には柔道協会の組織強化の一環として、少年指導部の立ち上げに尽力され、指導員として青少年の育成に現在も貢献されている。

年二回近隣市町村の小、中学生による平塚少年柔道大会においては、企画立案および実行委員など大会の発展のため尽力し、広く地域青少年の健全育成に貢献されている。

平成二十四年より施行された、全日本柔道連盟公認指導者ライセンスを取得し、青少年の指導に活躍されている。

平塚で柔道を学び、協会指導員を務めながら、県大会をはじめ各団体主催の柔道大会に代表選手として出場し活躍され、好成績を残した。

永年の地域社会体育へ貢献されるとともに、柔道への情熱と青少年への優しさが人一倍強く、協会関係者からも倍々、子ども達からも信頼に厚いものがある。

以上のとおり、永年にわたり選手・役員として柔道競技の普及、発展に寄与した功績は顕著である。

本内 克洋氏

昭和五十四年から平成二十二年まで、神奈川県実業団水泳大会に連続出場、神奈川県総合体育大会に平塚市代表として連続出場。

平成二年から平成二十三年まで、神奈川県総合体育大会水泳競技大会に監督兼選手として、二十年以上にわたり、活躍している。年代別の優勝をしている。

水泳協会内では、特に強化部門の責任者としての活動を行い、活躍している。神奈川県総合体育大会終了後、神奈川県独自のスポーツマスターズ大会の予選を兼ねた市町村対抗形式の「かながわスポーツマスターズ水泳大会」において、監督兼選手として活躍している。

水泳協会主催大会では、大会運営役員として活躍している。以上のとおり、協会理事としての活動、水泳競技の普及、発展に貢献した功績は誠に顕著である。

和多 茂氏

平塚スキー協会は、平成三年(一九九一年)第四十六回国民体育大会スキー競技会新潟魚沼国体代表選手として参加する。監督コーチとして活躍(二〇〇九年(第六十四回)と

きめき新潟国体

二〇一一年(第六十六回)あきた鹿角国体
二〇一三年(第六十八回)あきた鹿角国体
神奈川県総合体育大会冬季大会スキー競技会
昭和五十一年(第二十七回大会)から平成二十六年(第六十五回大会)まで、距離競技(ノルディックスキー)に平塚市代表選手として連続三十八大会で活躍する。



左から、岸川 健二郎氏(平塚市野球協会)、中原 眞一氏(平塚市ヨット協会)、橋口 栄夫氏(平塚柔道協会)、本内 克洋氏(平塚水泳協会)、和多 茂氏(平塚スキー協会)

して、また、神奈川県スキー連盟競技本部ノルディック専門委員として、スキー協会の競技指導にあたる。以上のとおり、平塚スキー協会の運営に携わり、スキー競技の普及、振興に努めた功績は誠に顕著である。